



谷美枝子 議員
(公明党議員会)



災害時における被災者支援と 地域防災力の強化について

Q スマートフォン等で災害情報を収集することが難しい方への対応について、どのように考えているのか伺いたい。

A 行政経営部長

スマートフォン等インターネットを利用されない方に対しては、防災行政無線による情報発信を基本とし、聞き取りにくい場合には、フリーダイヤルによって放送内容の確認ができるほか、佐野ケーブルテレビでの情報発信も行っています。

また、非常時には町会長への直接の電話連絡、市職員や消防団員による広報車等での広報活動も実施しています。

高齢者など特に情報を得ることが難しい方に対しては、町会や自主防災組織、民生委員など、地域の繋がりを活用した声掛けや情報提供も重要であると考えています。

その他の質問

☆豪雨災害時における情報伝達と避難行動について



堀川悦郎 議員
(創政クラブ)



「次世代に選ばれる中心市街地」の 創造について

Q 足銀跡地を中心とした将来ビジョンと県道桐生岩舟線との連携開発について、どのように考えているのか伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

足銀跡地を中心とした将来ビジョンについては、佐野市中心市街地活性化基本計画のまちなかの整備方針にあるとおり、まちなかの回遊性向上に繋がるよう、民間活力を導入しながら進めていきます。

また、県道桐生岩舟線整備事業が足銀跡地を含む本町工区でも進められており、景観や居住環境などへの影響や、道路整備に伴い生じる空き地の有効活用などへの課題も考えられるため、事業の進捗を見据えつつ、足銀跡地の利活用を含め、調査研究していきます。

その他の質問

☆佐野市立学校の可能性を見据えた「佐野型教育モデル」の構築と次期学習指導要領への対応について



滝田洋子 議員
(日本共産党議員団)



人工鼻の日常生活用具給付について

Q 人工鼻の日常生活用具給付の品目への追加について、他の自治体では、人工鼻は日常生活用具給付等事業の対象であるが、本市では未導入である。本市において、同事業に人工鼻を追加する考えはあるか伺いたい。

A こども福祉部長

人工鼻の日常生活用具給付等事業への追加については、利用者の状況やニーズの把握が必要であると認識しています。そこで、当事者をはじめとする関係者や関係機関のご意見を丁寧にお伺いするとともに、他市の運用や給付状況も参考に、適切な基準等を整備するなど検討していきたいと考えています。今後も障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、本事業の充実に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆高齢者福祉センターの利用について
☆国民健康保険税の滞納による「特別療養」について
☆給食費無償化に係る保護者への給付について

※人工鼻とは…

人工鼻とは…気管切開や人工呼吸器の管理などで失われた鼻の「加温・加湿・ろ過」の機能を代行する医療機器です。